便利すぎる悠遊カード



チャージ式 IC カード

経済発展を遂げているアジア諸国。その都市交通を利用して街を移動するのに役立つのがチャージ式 IC カード。チケット購入や乗車のたびに小銭を用意する手間が不要、キャッシュレスで乗車可能なカードは現地通貨の扱いに慣れない旅行者には重宝するアイテムです。一日で数多くの観光名所を取材する私には旅の必需品。台北には「悠遊カード(繁体字は悠遊卡。ヨウヨウカーと発音)」、英語名で「EASY CARD」と呼ばれるチャージ式 IC カードがあります。台北市内の観光名所、繁華街へ渋滞を気にせずアクセスできる都市交通システム MRT(台北メトロ)の乗車のほか、街を縦横無尽に走る路線バス、ほかの都市へ向かう高速鉄道、さらには一部のタクシーでも利用可能なカードです。

どこで買える?

悠遊カードの公式ホームページでは、すべての MRT 駅に販売機とチャージ機を設置とあります。また主要 MRT 駅に販売機があると記載する旅行ガイドも。しかし、実際には販売機のある MRT 駅は少なく、購入しようとしたとき戸惑いました。台湾桃園国際空港でも販売していますし(第 1、第 2 ターミナル到着ロビー内「電子票證聯合服務」のサービスカウンター)、チャージの方法も日本語で教えてくれるでしょうから、到着後にすぐ購入してもいいかもしれません。台北市内でのフリータイムの際に求めるのなら、MRT 駅改札横にある窓口(詢問處/INFORMATION)で「EASY CARD(イージーカード)」と言えば買うことができます。料金は 100 元です(返却すると一部もしくは全額返金されるデポジット)。

チャージの手順

駅改札横の窓口で悠遊カードを購入したら、この時点ではカード残高は 0 元。構内のチャージ機で追加チャージをする必要があります。追加チャージは 100 元から可能です (窓口ではいくらからでも可能)が、硬貨は受け付けず紙幣しか使えないチャージ機も多いです。



←悠遊カード購入もチャージもできる機械。数は少ないよう





↑左は紙幣のみ使えるチャージ機、右は硬貨も使えるタイプ

手順は以下の流れで。

- ①カードの差し込み口に悠遊カードを入れるか、読み取り台にカードを置く
- ②100元以上の任意の金額を投入
- ③液晶画面上の「確認」ボタンをタッチ
- ④チャージが完了したらカードを抜きとる。チャージ明細書が欲しい場合は画面の「明細

表」ボタンをタッチ

コンビニでも買える



2015 年 2 月に発売されたスポンジボブの 3D 造型悠遊カード。プラスチックのカードタイプが 100 元なのに対して、このような特殊なものは 390 元。毎月、新しいデザインと造形のカードが続々と登場するため、コレクションしている人も多いのではと想像します

悠遊カードは台北の「セブン・イレブン」と「全家/ファミリーマート」、「ハイライフ」、「OKマート」でも購入とチャージが可能。MRT駅で販売する味気ないデザインのカードと異なり、コンビニで扱うのはキャラクター系などスペシャルな限定モノ。内部にICチップが埋め込まれ、硬質プラスチック製のカードタイプのみならず、やわらかなゴム素材のキーホルダータイプなど素材も大きさもさまざま。ユニークで多様、日本では考えられない柔軟な公共カードの販売手法です。コンビニでのチャージはレジで店員に100元以上の希望額を言えば、やってくれます(購入時にもいくらチャージするか聞かれます)。

MRT の運賃が 2割引きに



MRTの改札にある悠遊カードの読み取り機にカードをタッチすると自動的に料金が差し引かれ、カードの残高も表示され、改札が開きます。下車時も同様に読み取り機にカードをタッチすると改札が開きます。MRTの乗車料金は20元~と、日本と比べて安いのですが、悠遊カードで乗車すると、さらに料金が2割引となりますから、とてもお得です。ちなみに下車時、カード残額が不足してもデポジットの100元から乗車代金が差し引かれて、改札を出ることができます。その場合、すみやかにチャージしておきましょう。

路線&高速バスでも使えます



台北市内の隅々まで網羅する市内バスの乗車あるいは、市内と台湾桃園国際空港を結ぶ高速バスの乗車チケット支払いにも悠遊カードを利用できます。市内バスには運転席の脇に悠遊カードの読み取り機が設置されています。バスによって異なるのですが、乗車時または降車時にカードをタッチすれば、自動的に乗車料金が差し引かれます。両替が不可能な

市内バスの場合、小銭を用意する必要があるのですが、悠遊カードがあれば、その面倒がありません。あくまで私感ですが、乗車・下車時の面倒がないぶん、案外スムーズに市内バスを利用することができました。



←下車したいときは「下車鈴」を押す

ただし、乗車時は手を上げて主張しないとスピードを緩めずに通過されてしまう停留所が多いこと、車内アナウンスがたいてい北京語のみのため、車窓の風景から下車のタイミングを判断し(私の場合、Wi-Fi ルーターで常時ネットに接続した iPhone の GPS/Google MAPでバスの走行位置を把握。目的地との距離から下車のタイミングをはかっていました)、「下車鈴」と書かれたブザーを押して停車してもらうなど誰でも気楽に利用可能なわけではありません。MRT駅から離れている台北市内の観光名所は國立故宮博物院と忠烈祠。この2カ所へは駅から歩いて行くのはかなり大変。パッケージツアーの場合、ホテルからの送迎車が付いて問題ありませんが、フリータイムに目指す場合はMRTで最寄駅まで行き、そこからタクシー利用というのが日本人の一般観光客には便利なアクセス手段でしょう。

街なかでも使えます



世界一の密集度といわれる台北の「<u>セブン・イレブン</u>」、「全家/ファミリーマート」のほか、「<u>ハイライフ</u>」や「<u>OK マート</u>」など台湾系のコンビニでの支払いにも悠遊カードを利用できます。このあたりの状況は日本と同じで、観光中のミネラルウォーター、観光後のビー

ルやおつまみの購入をより手軽に行えるのが嬉しいですね。レジでの支払い時にはカードを見せながら、北京語読みの「ヨウヨウカー」と店員に言えば、伝わります。英語読みの「EASY CARD」と言っても理解してもらえないこともありました。

とにかく使える場所がたくさん

台北市内ではほかにも、悠遊カードを支払いに利用できる店、商業施設が多いことに感心します。数が充実しているだけでなく、日本人観光客も利用率が高い店のほとんどが悠遊カードに対応している体制が素晴らしい。駅構内や周辺、コンビニなどごく限られた場所でしか使えない SUICA とは対照的な便利さ。日本もぜひ見習ってほしいです。

[支払いに利用できる店の例]

- ●スーパー/「<u>頂好超市</u>(ウェルカム)」、「<u>松青超市</u> (MATSUSEI)」、「Jason's」、「<u>全聯福</u> 利中心」
- ●ドラッグストア/「<u>Watsons</u> (ワトソンズ)」、「<u>康是</u>美 (COSMED)」
- ●ファストフード/「ミスタードーナッツ」、「KFC」
- ●カフェ/「<u>スターバックス</u>」、「<u>イカリコーヒー</u>」、「<u>丹堤咖啡</u>(ダンテコーヒー**)**」、「<u>ミスタ</u> ーブラウン」、「天仁茗茶」
- ●ジューススタンド/「50 嵐」
- ●日系のデパート、ショップ/「新光三越」、「太平洋 SOGO」、「MUJI (無印良品)」
- ●ショッピングモール、商業施設/「<u>Breeze Center</u>微風廣場」、「<u>環球購物中心</u> GLOBAL MALL」、「<u>台北 101</u>」「<u>誠品</u> eslite グループ(誠品書店など)」、「金石堂書店」



↑24 時間営業の店舗も多いスーパー「頂好」。日用品、食料品を豊富にそろえる。おみやげにとしてもおもしろい台湾 独自の調味料や独特なパッケージのお菓子も入手可。コンビニには置いていない酒類もいろいろ

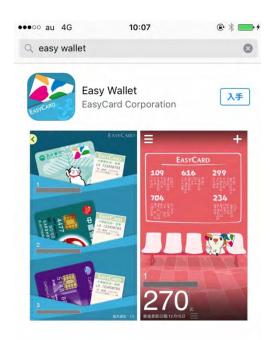


↑台北の繁華街に立つ日系デパートの「新光三越」と「太平洋 SOGO」。地下にはテイクアウト可能なグルメの名店が 集まり、「ひとり飯」の調達に重宝



↑大型書店や洗練された雑貨、台湾の人気飲食店が入る「<mark>誠品生活松菸店</mark>」(左)と「MUJI」が出店する「ATT4FUN」

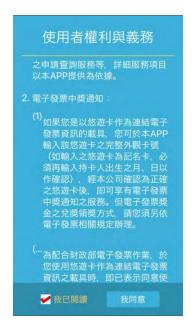
明細、残高を調べられるアプリも



悠遊カードの使用履歴を確認できる無料アプリ「Easy Wallet」が便利です。iPhone 版とア

ンドロイド版がありますが、ここでは iPhone での使い方を紹介します。

STEP1:まずは画面内の「入手」をタップします。



STEP2: 利用規約の画面に切り替わるので、「我已閲読」にチェックを入れて「我同意」を タップ。



STEP3: すると、悠遊カードの登録画面に。「卡片自訂名稱」には登録するカードの名前を入れ(5 枚まで登録可能)、「悠游卡外觀卡號」に悠遊カード番号(裏面の数字)を入力し、「新增」をタップ。さらに「確認」をタップすれば登録完了です。



アプリを立ち上げると、自分でつけたカードの名前と悠遊カード番号、残高を表示。



画面をスクロールしていくと、日付、時間、どこで使用したか履歴を3カ月前まで表示。 MRT (捷運 \sim) は降りた駅のみ表示されます。



さらに「依通路加總」をタップすると、どこでいくらチャージしたかと、チャージ額が差 し引かれたところと明細を表示。

旅行中の出費を細かく確認できて重宝します。残高が一目瞭然だから、チャージのタイミングがわかりますのが助かります。滞在中、何度もチャージするのが面倒という人は、MRT乗車以外に、コンビニやカフェ、スーパーなどでの支払いに活用することを考えれば、一日 270元(1,000円くらい)×滞在日数程度のチャージを最初にすればよいと思います。

返却デポジットの方法

発行してから 20 年間使える悠遊カード。台北リピーターならば、ずっと所持していてもよいと思います。帰国時にもう必要ないから返却したい人は、MRT 駅改札横にある窓口(詢問處/INFORMATION)で手続きしよう。窓口で「Return Easy Card」とでも言えば、通じるかと思います。返却すると、カード残金と悠遊カードを作ったときのデポジット 100元がいくらか還ってきます。カードを未使用で、購入後 2 日以内あるいは、カードを 5 回以上使用し、購入後 3 カ月以上経過している場合、手数料は取られず 100元がそのまま返金。それ以外は 100元から手数料 20元が差し引かれます(カード残金+80元を返金)。ただし、カード残金がマイナスになっていたら、そのマイナス分も差し引かれます。さらに、返却時にカードが破損していても手数料がかかります。手数料はカード購入して 2 年未満は 100元、2 年~3 年未満が 60元、3 年~4 年未満が 40元、5 年以上は 20元となります。短期滞在の旅行者はカードを破損しないよう持ち歩きましょう。